



大地の実り

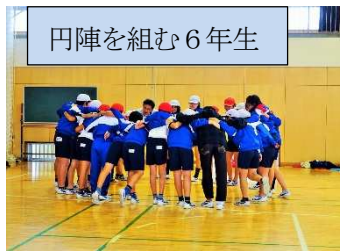
水戸市立下大野小学校
学校便り NO. 23
平成28年2月26日

なわとび記録会

インフルエンザや体調不良者がいたため、一週間延期していたなわとび記録会でしたが、2月24日(水)のロング昼休みに、無事行われました。毎日、中休みの5分間の全校縄跳び、体育の時間、そのほか個人練習を積み重ね、当日の優勝記録は、表のようになりました。なお個人優勝者には、体育委員会、塙紫遥委員長よりメダルが贈られました。

「長縄8の字跳び」5分間縦割り班(9班対抗)の部				
1位	1班	385回	2年 久野 夏希	
<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; display: inline-block;"> 縄回しのタイミングが絶妙! </div>			3年 大和田 蓮 久野 陸人	
			4年 市毛 智也 人見 果凜	
			5年 石堀 琴美 関根 遥人	
			6年 石川 皓基 小林 千鶴	
			吉川 大輝	

「短縄 連続跳び」2分間 前跳びの部			
1年	男女	284回	大和田陽翔
2年	男女	410回	大谷 和那
「短縄 連続跳び」1分間 二重跳びの部			
3年	男女	121回	吉川 怜佑
4年	男子	101回	久野 鉄太
	女子	158回	高橋 梨乃
5年	男子	108回	関根 遥人
	女子	87回	鈴木優里花
6年	男子	116回	荻沼 航世
	女子	126回	高橋 茉那
「長縄8の字跳び」5分間 学年別の部			
1・2年	215回		5年 515回
3年	321回		6年 553回
4年	329回		



本校では持久走大会の後、毎日5分間なわとびに挑戦しています。ジャンピングボードも20個近く用意され、二重跳び、三重跳び、四重跳びにチャレンジする児童もいます。また、県のスポーツチャレンジにクラスとしてノミネートし、県下の他の学校と競い合うことで、チャレンジ精神を育てています(結構良い順位に位置しています。特に二重跳び部門です)。校内でも、5・6年生間での長縄8の字跳びの競争意識があったり、個人でも学年を超えた切磋琢磨の機会があったりし、毎日一生懸命がんばっていました。縦割り班での4回に及ぶ練習を見ると、低学年が跳べるように縄回しのタイミングや体制を工夫してあげている6年生や、1年生の肩を良いタイミングで押してあげる2年生の姿などもありました。1年生が自主的に、縦割り班で迷惑をかけないようにと長縄の自主トレを子どもたち同士でやっていたのも、感動的一幕でした。

春が楽しみ 六年 清水 楓
 春が楽しみ 新校舎
 下小 建てかえ きれいにね
 春が楽しみ 卒業式
 旧校舎での思い出と
 さびしい気持ちと
 うれしい気持ち

未来は 温かい
 未来は 輝いている
 未来は 楽しい
 未来は どのようになっていくか

発芽 六年 荻沼 航世
 私は今 何の中にいる?
 私は 種の中にいる
 早く 発芽したい
 どうしても発芽したい
 なぜなら
 外の世界が見たいからだ

春に咲く花 六年 伊藤 遥
 まだ寒い冬
 でもがんばってつぼみをつけた
 この冬を乗り越えれば
 美しい花を咲かせることができる
 私はがんばる
 この冬を乗り越えて
 新しい自分になる

下大野ふるさと自慢

歴史・史跡・伝統編

もちろん大串貝塚、ダイダラボウはピカ1の人気でした。今回は、その他のふるさと自慢についてご紹介します。

長福寺・・・3年 久保田 匠 2年 林 侑哉 林 萌奈

- ・江戸時代の終わりに、水戸藩内で反乱が起き戦争になった時、水戸藩の本陣（基地）になった場所です。（久保田）
- ・お寺に鐘つき堂ができました。ぼくはついたことがあります。（侑哉）



折居の泉・・・5年 大谷 姫菜 6年 岡田 拓磨

- ・昔、建御雷の尊（たけみかづちのみこと）が東の方に来た時、この地に至り、清水の吹き出しているのを見て、馬から降り、飲んで休憩したという言い伝えがあります。（大谷）
- ・飲めば万病に効く湧き水。旅人がのどをうるおしていったところです。今、出ていないのが残念です。（岡田）



敬老会の記録がある・・・3年 金澤 翼

- ・明治40年にできたという記録があるそうです。

電行道・・・3年 吉川 愛実

- ・私の家の道は、常澄図書館まで続いているのですが、50年ぐらい前までは電車が走っていたそうです。

小泉の天王祭・・・1年 荻谷 結斗 5年 雲井 乃愛 鈴木 優里花

- ・みんなでお神輿を担いだり太鼓をたたいたり、山車を引いたりもします。お母さんの子どものころからやっています。楽しいお祭りです。

みろく囃子・・・2年 大谷 和那 久野 夏希 4年 久野 真愛 5年 大谷 姫菜 久野 穂乃花

- ・300年前から行われている。私もやっています。（久野）
- ・お母さんもやっていたそうです。（大谷）



鹿島・香取神社・・・5年 清水 葉月

- ・みろく様が眠っています。みろく様は水戸の郷土カルタにも出てきます。

下大野サ皆コー祭・・・5年 清水 葉月

- ・毎年11月に市民センターでお祭りがああります。まき餅があるので、大人の人もいっぱい来ます。

備前堀・・・1年 高橋 真花 2年 高橋 拓未

- ・おいしいお米をつくる水。私の家の前を備前堀という川が流れています。この川の水で、お米を育てています。（真花）
- ・およそ370年以上前、徳川頼房が水戸の殿様の時、伊奈備前守忠次に作らせ、千波湖から水を引いて、下大野の米づくりを盛んにしました。（拓未）



小泉町の地名の由来・・・1年 檜山 唯華 5年 檜山 凜華

- ・私が住んでいるところ。人々が集まって地名を付けることになったそうです。この辺りは、葦や篠の生い茂るところで地名を付けるのにも目印になるものがありません。たまたま大きい水たまりと小さい水たまりがあり、大きい方を「おおいずみ」小さい方を「こいずみ」とよんでいました。「こいずみ」のあるところが今の小泉になったそうです。大泉の方は、地名に残りませんでした。

大洗鹿島線・・・3年 立原 冴航 小林 佑兵

- ・8月の終わりには田んぼの黄色とサルスベリのピンクの花の間から電車が見え、とてもきれいです。（立原）



子どもたちが一生懸命調べてきて、うれしく思いました。ご家族の皆様のご協力にも、深く感謝申し上げます。 伏見